

様々な小さな生物

■少数のイシガレイ

今回の調査では同流堤の水門付近でイシガレイ (Fig.1), イシガレイとヌマガレイとの交雑個体 (全長4.5cm) を各1匹採集した。河口では交雑個体を2匹採集した (Fig.2 他に全長5.5cm)。少ない数ではあるが、先月確認できなかったイシガレイを採集することができた。他にマゴチの稚魚 (Fig.3), ガザミの稚ガニ (Fig.4), 小型のアサリ (Fig.5), スズキ, エビジャコの間を採集した。これらが、今後干潟で成長していくのであろう。



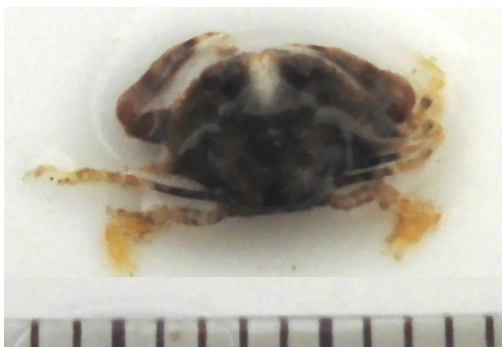
(Fig.1 イシガレイ 全長6.0cm)



(Fig.2 イシガレイとヌマガレイの交雑個体 全長7.5cm)



(Fig.3 マゴチ 全長2.5cm)



(Fig.4 ガザミ 目盛りは1mm)



(Fig.5 アサリ 目盛りは1mm)



■繁殖後のモクズガニ

先月のレポートで、抱卵したモクズガニを取り上げたが、今回の調査ではモクズガニの死骸が数多く観察された (Fig.6)。繁殖に参加し、命を全うした個体であろう。

(Fig.6 モクズガニ 雄)